

# あの日学校で起きたこと

～改めて備えと災害時の対応について考える～

富谷市教育委員会 生涯学習専門指導員・相談員

戸倉小学校 元校長

麻生川 敦



独立行政法人教職員支援機構

# 目次

1. 震災の前の津波防災に関わる職員協議
2. 東日本大震災における想定外の被災の実態
  - (1) 物質的な被災と心の被災
  - (2) 自然災害による心の被災と心の二次被災
3. 想定下にも潜むリスク
4. 完璧と思われる想定に潜む想定外のリスク
5. 「想定外を想定する」ために
6. 被災後におけるリスク
7. 心の傷のケアの重要性

# 1. 震災の前の津波防災に関わる職員協議

# 1. 震災の前の津波防災に関わる職員協議



# 1. 震災の前の津波防災に関わる職員協議

## 第二次避難場所の宇津野高台 距離400m



校舎から宇津野高台を臨む

(撮影：手塚泰弘氏)

# 1. 震災の前の津波防災に関わる職員協議

## 戸倉小学校津波被害の想定



(撮影：手塚泰弘氏)

# 1. 震災の前の津波防災に関わる職員協議

## 2年間の協議

◇校長提案      速さを最優先      屋上避難

◇地元教員      次の避難への備え      高台避難

- 東北大地震・津波シミュレーション
- 日本海中部・北海道南西沖地震の被害
- 消防署の見解・チリ地震津波被害
- 避難訓練の計時・伝承による避難

◎ 安全性に「100点」をとれない状況

**双方を避難場所とし、被災時に校長が選択**

# 1. 震災の前の津波防災に関わる職員協議

## 2年間の協議・検討を振り返って

### 津波防災が日常的な話題へ

- マニュアルの検討サイクルの定着  
マニュアルの強化へ
- 職員の防災意識が共通化
- 積極的な情報収集



自由闊達な協議 ← 自立した職員集団



## 2. 東日本大震災における想定外の被災の実態

### (1) 物質的な被災と心の被災

---

# 想定外の自然の驚異



3月11日 15時26分56秒 津波上陸

(撮影：阿部一郎氏)



3月11日 15時27分50秒 上陸54秒後

(撮影：阿部一郎氏)



3月11日 15時28分08秒 上陸1分12秒後

(撮影：阿部一郎氏)



3月11日 15時28分36秒 上陸1分40秒後

(撮影：阿部一郎氏)



津波最高到達点

(撮影：阿部一郎氏)

# 津波が引きはじめた宇津野高台



津波最高到達点

(撮影：阿部一郎氏)

## 2. (1) 物質的な被災と心の被災

### ◇ 当日勤務外の非常勤講師からの申し出

- ・ 大津波警報の発令
- ・ 津波避難の原則と個人の希望

正常性バイアスと判断

避難後の判断と悔恨



## 2. 東日本大震災における想定外の被災の実態 (2) 自然災害による心の被災と心の二次被災

---

## 2. (2) 自然災害による心の被災と心の二次被災



### 被災による心の傷と第二の被災による心の傷

- 被災の傷 恐怖・孤独・絶望・悲嘆・罪悪感
- 第二の被災 寄り添いがない支援・心の孤立

**復興や支援には被災者に寄り添う姿勢が不可欠**

### 3. 想定下にも潜むリスク

---

### 3. 想定下にも潜むリスク

- (1) 想定下の対応策の継続的・実践的点検・改善
  - ・ **本当に安心なのか**
- (2) 天災は、忘れた頃にやってくる
  - ・ **忘れない工夫・行動として定着させる**
- (3) 人間の特質の理解
  - **正常性バイアス・パニック**

防災の知識は「知っている」だけでは役に立たない

⇒ **行動すること**

## 4. 完璧と思われる想定に潜む想定外のリスク

---

## 4. 完璧と思われる想定に潜む想定外のリスク

- (1) 想定の完成度は**最高75%**程度ととらえる
- (2) 判断場面の想定、選択の余地を残す必要  
→ **20%**
- (3) 想定外の事態も覚悟  
→ **5%**



**(2)、(3) は臨機応変の行動が求められる**

**自然災害に「絶対の安全」はない**

## 5. 「想定外を想定する」ために

---

## 5. 「想定外を想定する」ために

- (1) 想定外が起こるといふ覚悟をもつ
  - (2) 想定外の状況判断を行う目をもつ
  - (3) 臨機応変に対応する力を上げる
- **正解のない判断 ⇒ ベストで立ち止まらず  
ベターの行動を**
  - **地域・学校・家庭のつながり=信頼づくり**
  - **場数をふみ、失敗から学ぶ力の蓄積**



## 6. 被災後におけるリスク

---

## 6. 被災後におけるリスク

- (1) 学校の想定（リスク）を家庭・地域と共有する
- (2) 様々な被災と復興の道筋も想定しておく
  - ・ 学校を失う場合など、機能の継続・回復について
  - ・ 避難所を担う場合と不可能な場合など
  - ・ 「心の受傷」「家庭被災の影響」など
- (3) 判断ミスがあった場合、万が一の場合の対応

**想定外 → 「正解のない判断」のリスクへの対応も**

## 7. 心の傷のケアの重要性

---

## 7. 心の傷のケアの重要性

### (1) 心の傷がもたらす第2の被災

- 被災の大きさと心の傷の大きさは比例しない
- 同じ被災でも心の傷は個人ごとに全く異なる
  - ⇒ 無理解による被災の連鎖・拡大
  - ※ ト라우マとはつながりを失うこと

### (2) ケアの基本は「つながりをつける」

- 傾聴                      違いを超えて、人と人を結ぶ
- 徹底的な共有      事実・思考・感情

# あの日学校で起きたこと ～改めて備えと災害時の対応について考える～

富谷市教育委員会 生涯学習専門指導員・相談員  
戸倉小学校 元校長  
麻生川 敦



独立行政法人教職員支援機構